

清里自然観察会～晩秋の清里高原であそぶ～ 報告

10月26日～27日で清里自然観察会を行い、子ども4人を含む18名という人数での参加で終始賑やかな観察会となりました。

最初は毎年恒例の他己紹介で参加者が和んだ後、自然学校周辺の自然探索と各自落ちている植物の収集をしました。ちょうどもみじが赤く染まり始め、栗やドングリも落ちていて秋を感じることができました。

自然学校に戻ったら集めた落ち葉をラミネートで閉じ込めます。中にはA4サイズのラミネート作品を作った方もいて、思い思いの作品を作ることができました。

夕食後は星空観察。観察場所まで行き、見上げれば満天の星空。早速会員である舟生さんの星空解説をしていただきました。予報では曇りだったのですが参加者の行いが良いため(?)その時間帯はクリアに見ることができました。



星空観察後は小川代表による蜜蝋(ミツバチの余分な巣を集め、固めると蝋になる)ろうそく作りを行いました。作った蜜蝋ろうそくの一つに火をともしると柔らかい火となりました。この火を吹き消すのは参加した子ども達。願い事をしながら吹き消してくれました。どんな願い事だったのかな?

翌日の朝の散歩では澄み切った青空の下、八ヶ岳連峰や富士山も見ることができました。

解散セレモニーでは参加者のお子さんからやまねに関するクイズを行ったところ何と全問正解したお子さんがいました。

一泊二日という観察会でしたがアンケートを見ると「楽しかった」「空気が良かった」「子ども達がお友達になれた」「また来たい」という感想を頂き、とてもいい観察会となりました。

(篠原)



お友達になりました



観察会の様子

